

わか家の田んぼ

八本松小学校

三年

え下田

ゆす

わたしの家には、田んぼがあります。おじいちゃんとおばあちゃんが、お米を作っています。

はじめに、五月ごろ田植えをします。おじいちゃんはおはきをかいて植えます。おばあちゃんは、田んぼのはしなどに手作業でなえを植えます。わたしもおはあちゃんといっしょに手でなえを植えました。きつたつこみ

ると、とてもたいへんなことか分かりました。はだしで田んぼに入ると足が土にうまっつ。何度ものけそうになりました。おじいちゃんとおばあちゃんはすごいなと思いました。

つぎに、田植えが終わったころ、おじいちゃんたちは、田んぼに水を入れたり、ぬいたりしています。何で水が入っているのにぬくんだらうかとふしぎに思いました。二人に聞いてみると、

水を調整すると、根がじつかりはるよう

になるよ。秋においしいお米かできるように、
いねも努力をしているんだよ。
と教えてくれました。目に見えないけれど、
根をほって努力をしているなんてすごいなと
感動しました。

それから、七月ごろ、田んぼは緑にかこま
れ、いねの高さもわたしのむねの高さにもう
すぐおいつきそうになりました。

そして、秋になると田んぼは、きれいな金
色になります。いねの高さは、わたしの身長

と同じぐらいになり、実もたくさんつきます。
おいしいちゃんたちほ、さかいびいねをかりと
ります。いつもあせだくでがんばるすがたほ
本当にかっこいいなと思います。

しゅうかく後、家ぞく全員そろって新米を
食べます。

おいしいね。
とみんなえ顔になります。

田んぼのお手伝いをがんばって、おいし
いお米をたくさん収穫したいです。